

まにわ恭子 NEWS LETTER VOL. 15

発行日 / 2006年8月7日 発行者 / まにわ恭子 <http://www10.ocn.ne.jp/~ikiiki>

恭子の 議会つれづれ

議員定数削減

夕張メロンで有名な夕張市が財政再建団体になったことはすでにご存知のことと思います。テレビのインタビューで高齢の方が、「住んでいる街が破産して受けられるサービスが減っても、われらはどこにも行くわけにはいかない」と肩を落として答えているのを見て、市が「破産する」ということは、市民にとつてもない「大きな負担」を強いることなんだと改めて実感しました。

さて、財政難を抱える広島市にとって、夕張市の問題は対岸の火事では済まされません。広島市議会でも「議員定数削減」と「議員報酬削減」の動きがでてきています。7月21日に開催された会派幹事長会議では、条例定数から5議席削減に賛成する意見が多数をしめ、報酬を削減する意見を主張したのは、共産党、社民党など少数でした。

私は、以前から「報酬削減」案に賛成してきましたが、現在は、「定数10人削減」と「議員報酬削減」の両方を実施すべきではないかと考えています。ただし、今のところ、この意見に賛成してくれる議員は、私以外一人もいそうにありませんが。

来年の議員選挙では、おそらく、中区、東区、南区、西区、安佐北区がそれぞれ1人削減となり、市議会議員は60人から55人となるだろうと思います。私の場合、前回の初選挙では、落選した次点候補との差が200票はあったものの、6位とはわずかに37票差しかない、7人中の7位(つまり最下位(^_^;))当選でしたので、来年はさらに厳しい選挙となりそうです。

私は無所属、市民派、一人会派としてコツコツとやってきました。夕張市の二の舞をさせないよう、広島市の財政難を解決し、住民福祉を後退させないためには、もっと無駄をなくす必要がありますし、



そのためには議員の監視は不可欠だと思います。議会では「数は力」ということを身にしみて感じることもありますが、一人でもやれることはたくさんあります。もちろん、市民の立場で発言する市民派の議員がもっと増えればより多くのことが実現できることはいうまでもありません。

一の4年間で、市民の要求を市政に反映させるため、行政職との交渉、議会での質問など、ひるむことなく課題に挑んできたと自負しています。それができたのも、皆さんの叱咤激励があったからこそ。これまでの経験を生かしながら、よりしたたかな議員として、がんばっていきたくと決意を新たにしています。

市議会 こぼれ話

平和を伝えるということは「命の大切さを伝えること」だと思います。特に私は自分がかん患者であること、また医療者である

ことを足場にして子どもたちに「命」を教えています。がん患者でも被爆者でも命ぎりぎりで生きている、あるいは生きてきた人たちの体験を生々の声で子どもたちに伝えることは、とても大事だと実感しています。

私は時々亡くなった患者さんの証言を国立平和祈念

館のビデオライブラリーで聞き、パワーを貰ってから講演にいき、看護の現場で語られた被爆者の様々な言葉を子どもたちに伝えています。「自分だけが生きのびていいの?」といつも自問自答する」という言葉を丁寧に話していくと、子どもたちは多くのことを感じてくれます。

今この時代にこそ「平和」即ち「命の大切さ」を教えるために当事者の言葉や映像をきちんと次の世代に引き継ぐ責任が、私たちにはあると思います。





2006年6月 議会報告

つぎのことを発言し、答弁を求めました。

補正予算について

障害者自立支援法による 新制度への移行措置

障害者自立支援法の成立によって、障がい者の所得に応じた負担から、サービス量と所得両方を勘案した負担（しかも食事は実費）となりました。この支援法だと、所得の低い利用者ほど負担増となるため、「支援」どころか障がい者を苦しめるものだとして障がいのある人たちから反対の声があがっています。そのため広島市では、18年度から20年度の3年間、負担の増額分を助成することになりました。単年度2000万円のこの緩和措置は、十分とはいえませんが、障がいをもった方やご家族に対する経済的負担をわずかでも減らすにことになると思います。障がいのある子をもつお父さん、お母さんが、安心して子育てできる環境作りのために私も微力ながら、努力していきたいと思えます。

監査報告について

職場での業務の引継ぎ、 チェックを厳しく。

毎年、広島市の内部監査報告書が各市議に届けられます。報告書に目を通して、今回気付いたのは、中央市場でのごみ搬出の際の過払いと平和公園の石貼り補修工事の積算ミスでした。前者の原因は担当者の引継ぎミス。後者は、業者が提出した見積もりをきちんと判断できなかった事が原因です。

さっそく議会で追及したところ、今後はどんな仕事も必ず二人でチェックする体制をとることが局長答弁で確認されました。チェック機能が有効に働くシステム作りも、もちろんですが、業者の積算や仕事ぶりをきちんとチェックできるよう、専門性を高めていただきたいと思います。

特別支援教育についての 懇談会を開きました。

障がいをもった子どもさんたちが、いかに学校の中で安心して豊かにすごせ、学べるかを担当者と懇談会を開きました。保護者の方からいろいろな意見が出て、とっても意義深い時間をすごすことができました。



障がいのある子の療育についての要望書提出を調整しました。



「子どもの通園施設の利用にかかる負担額をあげないでほしい」「すべての子どもが安心して通える通園施設を守って欲しい」という保護者の願いが届くよう、微力ですが、私も協力させていただきますと思っています。



厚生委員会 副委員長になりました。

さらにきめ細かく、市民の視点とプロの視点を持って、市民の安全・安心を提供できるよう努力してまいります。



常任委員会での質問・発言

厚生委員会

経営安定・安心安全のためにも ぜひ看護師の増員を

平成18年度診療報酬改定によって、夜勤時入院患者7人に対し、看護職員を1人という割合で配置した場合、病院に支払われる金額が増額となりました。病院の収入が増えるので、赤字も減りますし、患者さんにとっても看護師さんの増加はより安全性が保証されます。まだ患者10人に看護職1人の体制の安佐市民病院でも、看護職の増員を求めたいと思います。

市立看護専門学校を市立大学へ

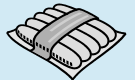
広島県は2010年度の看護師不足を推定2000人と発表しました。高齢社会において、看護と介護の充実は必要不可欠です。とりわけ、公立病院では、看護師不足に悩むことがないように定着率をあげ、率先して質のよい看護を提供していく責任があると思います。そのためには、現行の広島市立看護専門学校を大学へ移行させ、市立学校で育成した看護師を市立病院へという、自前のシステムを早急に作っておく必要があると思います。



文教委員会

学校給食での 無添加ソーセージが実現しました。

これまで給食の安全性を追及してきましたが、やっとソーセージが無添加に切り替わりました。ワールドカップ開催国ドイツにちなんだ6月には、教育委員会の求めに応じて業者が工夫して作ったおいしい無添加ソーセージが給食に登場し、子どもたちが喜んで食べたということです。今後、学校給食での無添加食品をさらに増やして子どもたちの食の安全を確保するつもりです。



緩和チームの充実をのぞむ

公設民営の安芸市民病院には、緩和ケア病床が20床あります。平成17年度の患者数は延べ5467人で前年度より延べ1600人増加しています。しかし、広島市民病院、安佐市民病院には緩和ケア病床はありません。そこで、緩和ケアチームを作って痛みのある患者さんを回ってもらっていますが、前年度2例から今年度は62例となり、ニーズが高いことがわかりました。より一層の充実をもとめたいと思います。

市民病院(基町)のがん治療

広島市民病院の東棟には、外来で抗がん治療ができる通院治療センターができました。また、南西病棟には、臨床腫瘍内科医とがん化学療法認定看護師が配属された27ベッドの病棟があります。少しずつ安心、安全の療養環境が整いつつあります。

ご存知ですか？



HIV(エイズ)の迅速検査

7月24日から中保健センターで、20分で結果がでるHIV抗体の迅速検査が始まりました。HIV感染者は増えています。気になる事があれば、082-504-2528(保健予防係)へ電話して予約してください。

- ・毎週月曜日 18時 19時40分
- ・無料、匿名です。

新しい事務所が オープン！

新たに事務所をオープンしました。
1階ですのでお近くにお越しの際には
ちょっとのぞいてみてください。

<所在地 / 広島市中区大手町2-5-9>



Run! Kyoko!!

まにわ恭子の走行記録

2006.5
~ 2006.7

- 5/11 ホスピスケア認定準備会 出席
- 12 障害者支援・少子化対策特別委員会 出席
- 13 婦人科がん患者会電話相談
- 14 LD・ADHD講演会 参加
- 16 朝一勉強会参加
- 17 議会運営委員会 出席
アニマル専門学校 講義
- 19 常任委員会(厚生・文教)
各派幹事長会議出席
- 20 健康づくり講演会参加
- 21 中区スポーツ大会 出席
日本女性会議総会出席
- 24 タカノ橋青空市政相談会
- 26 明治橋開通式出席
- 27 婦人科がん患者会定例会参加
- 28 ピンクリボンキャンペーン参加
- 29 県立広島大学保健福祉学部講義
安心・安全なまちづくり対策特別委員会傍聴
- 31 エソール映画祭参加
- 4 日本女性会議準備会 参加
- 9 入札監視委員会 傍聴
- 10 高齢社会をよ(する)女性の会講演会参加
- 12 議会運営委員会出席

- 14 会派勉強会参加
緩和ケアセンター会議 出席
- 17 高齢社会をよ(する)女性の会総会 出席
- 18 広島市女性教育センター講座講師
- 19 本会議(市長説明)
- 22 本会議(一般質問)
- 23 日本緩和医療学会総会出席
- 26 本会議(一般質問・質疑)
- 27 常任委員会調査
- 28 本会議(議決等)
- 7/1 緩和ケアセンター会議 出席
- 3 特別支援教育についてヒアリング
- 4 安心・安全なまちづくり対策特別委員会 傍聴
- 5 障害者支援・少子化対策特別委員会(視察・委員会) 参加
朝一勉強会参加
- 6 安全でおいしい給食推進検討委員会 傍聴
- 7 正副常任委員長会議 出席
ひろしま女性学研究所 講演
- 11 大都市税財政特別委員会 傍聴
- 12 女性議員クラブ 出席
- 14 文教委員会 傍聴
- 18 建設委員会・総務委員会 傍聴
- 19 厚生委員会出席
- 21 各派幹事長会議 出席
- 22 挨拶運動 参加
- 30 中区民パトミントン大会 出席



Kyoko
Watching



議員控え室のまにわさんの机の上には、年代物の赤い手動式の鉛筆削りがあります。小さな取っ手をくるくる回すと、ちょっとしんどそうにカチャカチャカシカシ音を立てて鉛筆を削ります。どうも、まにわさんが小学生時分から未だに大事に使っているものだとか…。

パソコンやインターネットを自由に使いこなし、携帯電話が手放せない姿からは想像もつきませんが、まにわさんは根っからの鉛筆好きの手書き派です。大事な議会での質問や意見も、まずは鉛筆で下書き、何度も消しゴムを使って書き直し、少し薄汚れた色の原稿が、パソコン入力のために私たちのところにやってきます。担当課の人の説明を聞く時にも、やっぱり鉛筆は手放せません。話を聞き聞き、鉛筆を削りなおしては、資料にいろいろ書き込みをしていきます。

「鉛筆って面倒じゃないですか？」って尋ねると、「何と言ってもこの書き心地が大好きなの。それに鉛筆を削っていると気持ちが落ち着いてきて仕事もはかどるし、消しゴムを使えば紙を無駄にしないで節約になるのもうれしいでしょ。」と、まにわさんの答え。

どうやら鉛筆は、まにわさんの仕事パワーの支え手でもあるようです。ペンたての中にたくさん並ぶ、小指半分くらいの小さな鉛筆たちに「お疲れ様！」と声をかけたくくなりました。

(金子)

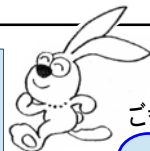
青空市政相談会

8月17日(水) 13:30 ~ 15:00

タカノ橋商店街

バタバタふれあい広場

(中区大手町5丁目)



ご参加をお待ちしています

あなたの町に伺って、市政に対する
要望や提案、ご相談などをお聞きます。
井戸端会議から市議会へとつないでみ
ませんか。お気軽に声をおかけ下さい。

星空市政口演会

場所

ひろしま女性学研究所

(中区白島北町16-25)

10月ごろ予定しています。

事務所からのお知らせ

ニュースレターをEメールでもお送りします。

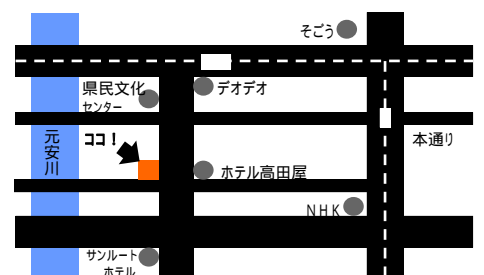
メールでの送付をご希望の方は、まにわ恭子のHPから直接メールでお申込みください。(http://www10.ocn.ne.jp/~ikiiki) できるだけ送料を節約したいと思いますのでご協力をお願いします。



カンパのお願い

後援会にカンパしていただくと助かります。一口千円で、何口でも下記の郵便局の口座へお願いします。

口座番号 01310 - 1 - 74320 まにわ恭子後援会



馬庭恭子事務所・まにわ恭子後援会

〒730-0051 広島市中区大手町2-5-11-204

TEL & FAX 082-541-3151

Email ikiikihiroshima@lily.ocn.ne.jp